

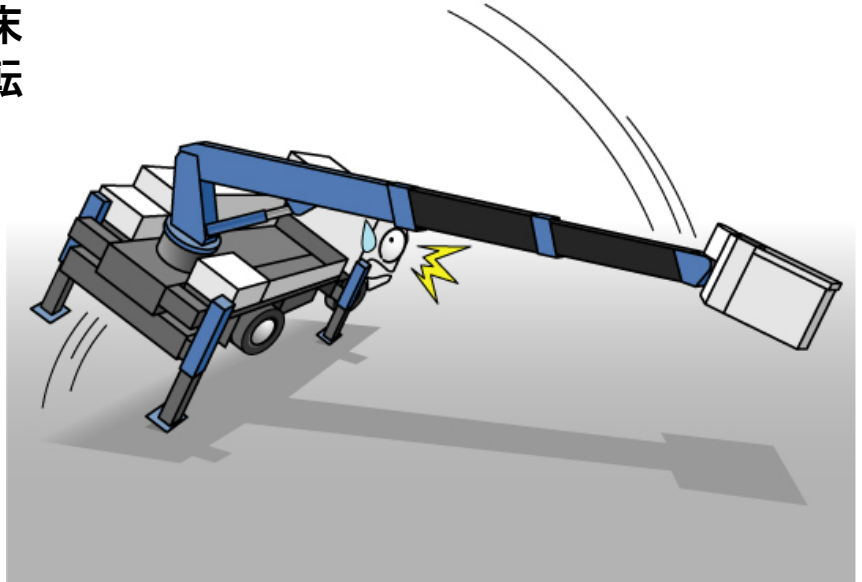
事故事例

安全装置の点検不足による転倒事故

高所作業車

事故発生状況

起伏伏せ操作にて作業床を移動させていたところ転倒した。



原因

- ・安全装置の数値(モーメント)のずれ。
- ・安全装置の作業開始前の点検を行っていなかった。

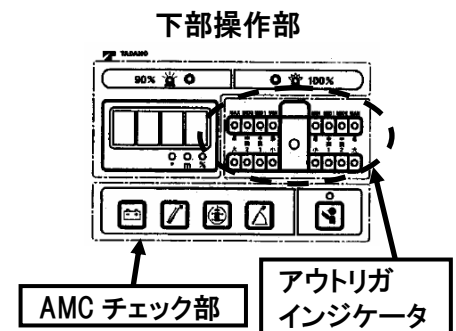
対策

安全装置(AMC)の作業開始前の点検を行う

AT-146TE-3 の場合(点検手順は機種により異なります)

以下の手順で、点検を行ってください。

- 1)アウトリガを接地し、ブーム全縮、バケット積載なし、バケット格納状態にしてください。
- 2)チェックスイッチを押しランプの点灯と、作動操作をしても作動しないことを確認してください。
- 3)アウトリガインジケータの点灯位置が、実際と一致していることと、ジャッキの接地を確認してください。
- 4)ブーム起伏角度 10° 50° にて、安全装置のチェックを行ってください。



- ・詳細は取扱説明書を参照してください。
- ・異常がある場合は使用を中止し、直ちにタダノ指定サービス工場での点検・修理を受けてください。